

海運＜不定期専用船＞

2021年9月27日

船舶管理事業をシナジーに移管 マースクタンカーズ

デンマーク船社マースクタンカーズは、同社の船舶管理事業をシンガポールで船舶管理業を営むシナジー・グループ傘下シナジー・マリンに移管することを23日、発表した。これによりマースク・プロダクト・タンカーズの保有船を含む82隻のテクニカル管理、顧客やサプライヤーとの契約がシナジーに引き継がれる。シナジーがテクニカル管理を、マースクタンカーズがコマーシャルマネージメントを実施する体制となる。

現在マースクタンカーズで船舶管理事業に携わる従業員の多くがシナジー・グループの一員となる。

マースク・タンカーズのクリスチャン・M・インゲルスレヴCEOは「シナジーグループとの合意は当社の戦略上の大きなステップであり、テクニカル事業とコマーシャル事業の両方に最適な条件を提供するものだ」とコメントした。

シナジーグループは船員1万4000人、陸上職員1000人以上を擁する大手船舶管理会社で、2006年設立。同グループのラジェッシュ・ウニCEOは「マースク・タンカーズの技術管理事業を任されたことは、高品質かつ技術的に優れたサービスのプラットフォーム構築に向けて努力するという当社の信念を証明する」と語った。